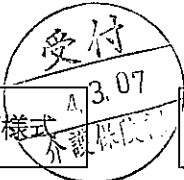


小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	荻野 俊夫	法人・事業所の特徴	お祭りの盛んな飾磨区妻鹿にある事業所です。法人小規模多機能ホームの理念である「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」のもとに、住み慣れた地域で気持ちよく過ごして頂けるよう、利用者の思いを大切にして支援いたします。
事業所名	小規模多機能ホームめが	管理者	的之 查努美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	1人	人	1人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認				
B. 事業所のしつらえ・環境	グループホームの出入り口と小多機の出入り口が良くわかるよう対策をする。	グループホームの出入り口にディスプレイの案内を設置した事により間違いは減った。	コロナ禍で突然の来訪者も減っている。	
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き安全運転を心掛ける。	1件苦情があり対応した。	事業所建物前の点滅信号が撤去され環境が変わった。細い道や一方通行が多い地域である。	一方通行、細い道、踏切等、地域の環境に応じた安全運転を心掛ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントが開催された場合は感染対策をした上で利用者に参加して頂く。	地域の祭りは前年度に続き中止となり、事業所の夏祭りも事業所内だけで開催した。	コロナ禍のため、積極的に地域に出て欲しいとは言いにくい。	今後の感染状況により、可能であれば地域との交流を試みる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を毎回土曜日開催にし自治会長や民生委員に参加して頂く。	毎回土曜日開催で定着した。		毎回土曜開催を継続し、得た地域の情報を事業所運営に活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	垂直避難訓練を継続して行う。	3階までの垂直訓練を2回行った。非常食の更新をした。		垂直避難訓練を継続して行う。



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 1月 28日 (17:00 ~18:15)
------------------	-----	------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	5名
--------------------	------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	0人	11人

前回の改善計画	意思の確認が出来る方は職員全員で思いを傾聴し共有する。 意思の確認が難しい方は日常の行動等情報を収集し思いを押し測り共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の言動等を観察出来ている。情報共有し利用者本人の望むサービスが提供できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5	3		11
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	1		11
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	8			11
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	2		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
その日の状態で入浴介助方法を変えている。あまり食事が摂れていない方には好きな物や食べやすい物を用意している。新規利用者の情報は事前にカルテ等で収集出来ている。意思確認できる方の思いを傾聴出来ている。本人情報がきちんと提供され職員間で共有されている。丁寧な記録を残している。利用前に困り事や思いを確認し支援に繋げている。入浴時等個別で思いを傾聴している。声掛け気遣いが出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
業務優先の時があり利用者とのコミュニケーションをじっくり取れず本人の思いを聞き出せない。意思確認ができない方の情報収集。家族と会う機会がない。本人と家族の希望が合致しない時に家族優先になる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
困っている事の情報共有だけでなく個人の希望を重視しQOL向上のための支援を考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 28 日 (17:00 ~18:15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	1 人	3 人	11 人

前回の改善計画	計画書だけのファイルを作成し全員が目を通せるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	計画書はカルテに保管してある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	4		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	3		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	2		11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	2	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 部会で利用者 1 人 1 人について話し合っている。部会で振り返りが出来ている。関わりの中で本人の思いを知ろうと出来ている。推測し意見交換している。本人または家族に望む生活を確認している。実践した内容を共有し次に繋げている。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の目標について全員は把握出来ていない。サービス計画書を見ていない。 利用者全員のゴールは把握出来ていない。全体のミーティングの機会が少ない。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ミーティングを利用し数名ずつの計画書について話し合いの機会を持つ。
---------------	------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 28 日 (17:00 ~18:15)

3. 日常生活の支援

メンバー 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	3 人	0 人	11 人

前回の改善計画	過去の生活や在宅での様子、本人や家族から聞き取った内容は記録に残し共有する。観察する力、対応する力を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	しっかり報告出来ている。観察点が出来ているので継続して共有を行う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		5	5	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の意思と家族の思いに沿った介護が出来ている (心掛けている) 本人の気持ちや体調の変化に即時的に対応出来ている。出来るだけ本人の出来る事はして頂いている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方はあまり把握出来ていない。本人の気持ちや体調変化への対応支援には家族の協力も必要。生活環境数個しか把握していない。以前の暮らし方より今の生活に注目している。記録が不十分で共有できない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の出来る事、支援が必要な事をしっかりと情報共有する。ヘルパー手順書を利用し徹底させる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 28 日 (17:00 ~18:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	4 人	0 人	11 人

前回の改善計画

近所づきあいや近所のスーパー・コンビニ等の把握に努め共有する。
記録や訪問時の観察から必要なサービスにつなげていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

訪問時の観察報告は出来ているが記録に残せていない事が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	4		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7	3	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	5		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8	1	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
カルテや本人の発言を通して生活スタイルを理解している。記録や訪問時の観察から必要なサービスに繋がっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源はわからない。独居の方の自宅での過ごし方がわかりにくい。民生委員を知らない。記録に残さず口頭での伝達で終わっている場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

報告した内容を記録に残すことを徹底し必要なサービスに繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 1月 28日 (17:00 ~18:15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	5人	0人	11人

前回の改善計画	地域の資源とは何かを職員全員が理解できるようまず部会で共有する。 今できている変化の気づきの共有を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の資源について共有出来ていない。気づきの共有は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7	4		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1日を通し変化があれば申し送りでも共有している。本人の細かい変化に気づく観察力がある。柔軟な対応が出来るのが小多機の利点。急なサービス変更にも対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の活用が難しい。本人や家族が地域と関わりたいと思っていないと難しい。地域資源の情報共有が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員の入れ替わりにより気づきが薄くならない様にお互いに声掛けを行う。職員自身が地域資源について学びを深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 28 日 (17:00 ~18:15)

6. 連携・協働

メンバー 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	1 人	1 人	11 人

前回の改善計画	当面コロナの影響でイベントや会議は中止や簡略化の可能性はあるが、開催された場合は感染対策を徹底した上で参加していく。リモート開催の場合は積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	必要な会議研修等は可能な限りリモートでも参加出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所）との会議を行っていますか？	1	5	3	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		3	4	4	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	1	9	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	8	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること センターではなく小多機内で夏祭りを開催した。様子をみながら部会を開催したり書面対応にしたりした。管理者 CM 職責者が出席している。感染対策がされている。コロナ禍により簡略化されているがカンファレンスや担当者会議を開催・参加した。他のサービス機関と連携がとれている。リモートでの会議に出席出来ている。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域住民や子供たちとの交流が出来ていない。コロナ禍で地域との交流がない。
---------	------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) コロナ以前のような交流は難しいが地域の中にある事業所という認識で挨拶や声掛けの講習を欠かさない。
---------------	---------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 28 日 (17:00 ~18:15)

7. 運営

メンバー 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	1 人	11 人

前回の改善計画	今後のコロナ禍の状況に合わせて可能なら運営推進会議に利用者や利用者家族に参加して頂く。 何かあれば頼れる事業所である事をアピールする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍のため運営推進会議をに利用者や家族が参加する事は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		9	2		11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	1		11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	2		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	5	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者家族地域から意見や苦情があれば職員間で話し合い次に繋げている、管理者に報告出来ている。 介護者からの意見は真摯に受け止めている。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域と協働した取り組み。コロナ禍で地域との関わりがない。
---------	----------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 今の状況で協働した取り組みは難しいかもしれない。ふれあい喫茶等の参加が可能な状況なら参加する。
---------------	--------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 1月 28日 (17:00 ~18:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	7人	1人	人	11人

前回の改善計画	職員全員が危険予知の観点を持てるよう、アクシデントインシデントを共有を継続し学習会を行う。接遇面は更なる改善に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	部会でアクシデントインシデントを振り返り、対応策を話し合っている。接遇面では言葉使いに気を付ける職員が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6	2	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	2	4	11
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	7	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	2	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修に参加出来ている人が居る。アクシデントインシデントの共有し部会で話し合っている。アクシデントインシデントの報告があがり対処方法を検討出来ている。感じた事、気づいた点を報告する雰囲気作りが出来ている。リスクマネジメントについて危険予知の観点からは不充分。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
喀痰吸引研修がなかった。自分自身でスキルアップの講習に行っている。接遇面は一進一退。テーマごとの勉強会を行っている。些細なインシデントが報告出来ていない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
些細なインシデントでも報告をあげ情報共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 28日 (17:00 ~18:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	0人	11人

前回の改善計画
成年後見人制度について学習会を行う。身体拘束とコンプライアンスについても繰り返し学習会を行う。職員どうしの会話の内容や声量に注意を払う事も含め、利用者のプライバシーに配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果
様々なテーマで学習会を行えている。 職員どうしの会話時の声量に配慮が足りない時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2			11
②	虐待は行われていない	9	2			11
③	プライバシーが守られている	1	9	1		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	5	4	1	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者をイニシャル表記にしている。配慮した介護が出来ていると思う。身体拘束、虐待がない。人権尊重を基本に支援出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	鍵の管理。知らない間に利用者に嫌な思いをさせているかも知れない。会話の内容や声量。ノックなしでの入室。成年後見制度について関わる事が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	1人1人の利用者に対して丁寧な介助を行う。 プライバシーの配慮について学習を続け互いに注意し合う。